

平成27年 12月 定例会（第322回）

◆二十四番（田尻匠）（登壇） 議長のお許しをいただきまして、これから一般質問をさせていただきます。

まず最初に、マイナンバー制度についてお伺いをいたします。

平成二十八年一月から、社会保障、税、災害対策の行政手続でマイナンバーの利用が始まります。政府は、マスメディアやいろんな広報を通じてマイナンバーの理解、周知をしていますが、県民の皆さんから、わからない、怖い、マイナンバー詐欺に遭うのではないかと大変心配をされていて、私に対しても相談が最近非常に多いところでございます。

私も先日、厚生労働省のマイナンバー制度と社会保障のフォーラムに参加をして勉強してきました。改めて申し上げますと、マイナンバーとは国民一人ひとりが持つ十二桁の番号で、各機関が管理する個人情報と同一であることを正確かつスムーズに確認することが可能となり、国や地方公共団体で管理する情報の連携がとりやすくなることで、さまざまなメリットをもたらすと公表いたしております。

マイナンバー制度のメリットは、行政の効率化として、事務が効率化されることでこれまで以上に迅速な行政支援が期待できること、国民の利便性の向上として、年金、福祉などの申請時に必要な資料が減り行政手続が簡素化されて国民の負担が軽減されること、公平・公正な社会の実現として、所得などの把握ができるため税を不当に免れることや不正受給の防止に役立つとされています。しかし、一般県民の皆さんとの話では、行政機関や税務署、税関係にとってはとても便利で、行政手続や税の徴収には効果は絶大だろうと思いますが、県民にとっての利便性はいまだ見えてこないのです。

また日本郵便によりますと、マイナンバーの通知カードの配達状況について、十二月一日現在で全国五千六百八十四万世帯のうち四十五都道府県でも六百五十三万通が未配達であると発表されました。奈良県内でも、一郵便局一市町村が未配達のようにございます。初回配達済みのうち、全国で不在時の戻りが九十四万四千通、宛名不明が二十万七千通あり、全体の二・七%もあったようでございます。

また全国の五つの地域で、マイナンバー制度は憲法が保障するプライバシー権を侵害し違憲だとして、国に個人番号の収集利用の差し止めや損害賠償を求める訴えが起こされています。行政がマイナンバー制度を利用しようとしても、本人に届かない場合も考えられます。

このような状況でマイナンバー制度が開始されることについて、知事はどのようにお考えをされているのか。また、奈良県ではマイナンバーをどのように活用されるのか、情報セキュリティの確立などどのように取り組んでいかれるのかお伺いをいたします。

また警察本部長には、もう既に全国的にマイナンバー詐欺が横行しているようですが、現在、奈良県内のマイナンバー詐欺があるのかどうか、県内の状況とこれからの対策をお伺いをいたします。

次に、国道三〇八号大宮道路についてお伺いをいたします。

今から二十五年前の平成二年度に事業化され、平成二十二年四月に高架部二車線と平面部四車線が、平成二十二年九月に八車線が完成供用されました国道三〇八号大宮道路は、県庁前、近鉄奈良駅、奈良市役所前、平城宮跡前と第二阪奈有料道路宝来ランプ入り口、学園前、富雄、生駒方面をつなぐ、県都を東西に貫く大動脈を構成する道路でございます。その事業費は三百億円、事業延長一・九キロメートルの道路整備事業で、奈良市菅原地区で地下道路か、あるいは高架道路かの議論がございましたが、地域住民の皆さんとの協議を経て、平城遷都一三〇〇年事業の観光客誘致を含めた話題道路として開通がされまし

た。

その後の交通量調査では、高架部においては一日約三万七千台、平面部においては一日約二万七千台となっており、第二阪奈有料道路においては、奈良市中町調査では一日約一万四千台、小瀬料金所付近では、交通量は平成二十六年で一日約二万二千台と料金収入から算出をされています。

これだけ多くの県内外の皆さんが仕事や観光で利用されていますが、奈良から大阪方面へ行かれる方、帰られる方や観光バスを含めて、第二阪奈有料道路宝来ランプに乗られる方が、高架から一度、平面の一車線においてしか第二阪奈有料道路宝来ランプから入れないのは、あまりにも道路整備が未熟だと言わざるを得ません。私も毎日このルートで自宅から県庁へと参りますが、夕方、第二阪奈有料道路宝来ランプ入り口に対して道路、進入口を間違われたり、急な高架から第二阪奈有料道路宝来ランプ入り口への進入のため、車線変更などかなり危険度も高いのが現状でございます。一日も早く高架から第二阪奈有料道路への進入路を確保するべきだと考えますが、いかがでしょうか。知事のご所見をお伺いをいたします。

次に、高架、平面道路が全て完成しているにもかかわらず、大阪から奈良行き東向きについては、第二阪奈有料道路、学園前方向から東向きのちょうど近鉄橿原線の跨線橋のところですが、二車線から最終一車線に絞ったままで、朝や観光シーズン、土曜日や日曜日は大きな渋滞を起こしております。

今日、この状況を県ではどのように感じられておりますか。このままずっと放置しておいて大丈夫なんでしょうか。私はすぐにでも完成している二車線を開放するべきだと考えますが、いかがでしょうか。今後の見通しをお伺いをいたします。

次に、観光行政の推進と大立山まつりについて質問をいたします。

私の六月の代表質問の中でも取り上げました県営プール跡地の再整備について、ことし九月に民間業者の公募、十一月末に締め切られ、民間参加業者があったようでございます。

このプロジェクトの中心は、ホテルを核とした賑わいの交流拠点事業でありまして、森トラスト株式会社が、四つ星以上、客室百五十室以上、国賓級VIPの宿泊にも対応できる、今まで奈良県になかった高級国際ブランドホテルを建設される予定でございます。あと主な整備内容は、二千人規模のコンベンション、屋内多目的広場や劇場、屋外多目的広場、バスターミナルや駐車場、飲食・物品販売やNHK奈良支局の移転を中心に、具体的に観光行政が推進されてまいります。まさしく奈良県の大きな目玉政策として、雇用や地域の活性化、奈良の国際化に向かっていくこの事業をしっかりと注視、監督しなければならないと思っております。

そのような中、平城宮跡との関連、連帯、連携はとても大事なポイントでございます。私も前回の質問の中で、平城宮跡にコンサートイベントの開催を強く提案をいたしました。

そして、そのような中、来年、平成二十八年一月二十九日から二月二日までの五日間に、奈良県冬季誘客イベント、大立山まつりが開催をされます。総額二億円の大事業でございます。

ことしの九月議会の補正予算で承認され、具体的に計画が進んでいるようですが、イベントの内容としては、平城宮跡内での大立山の巡行、県内地域の伝統行事の実施、飲食の県内市町村自慢のあったかもんグランプリが予定されていると聞き及んでいます。

そこで、知事から大立山まつりの狙いについて説明をお伺いいたしますとともに、この行事は一度だけなのか、あるいは毎年恒例化をすることなのか、その点についてもお尋ねをしたいと思います。また開催までの時間を考えますと、しっかりと広報することが重要と考えますが、どのように取り組まれている

るのでしょうか。さらに、来場者人数についてはどのように予想されているのでございましょうか。またイベント中の交通のアクセス、車の駐車場、宿泊ホテルの確保などの対策は大変重要と感じますが、どのように取り組んでいかれるのかお伺いをいたします。

次に、地域の防犯力向上についてお尋ねをいたします。

最近の治安を見ますと、犯罪の凶悪化や低年齢化、多様化が見られ、大変心配な事件が全国的にも多く報道されています。その中で、地域住民によるパトロール活動や声かけ運動、危険箇所チェックなど自主的な防犯活動の役割、重要性が増しています。

また最近では、防犯カメラで撮影された映像がリアルに流されて、犯人が自首したり逮捕されるなど大きな効果があらわれていると思います。特にコンビニエンスストアや民間会社、駐車場などにも多く設置されようとしています。

しかし、街頭防犯カメラについて、奈良県警察本部の調べによりますと、繁華街、商店街、道路、公園、地下街、地下道路及び駅周辺の公共空間を撮影することを目的に設置されたカメラの設置箇所数は、平成二十七年十月現在、奈良県内において七十六カ所、設置台数が四百五十八台でございます。奈良市においても十八カ所、百四十台と把握をしております。県内十一市九町一村とあまりにも少なく、一台も設置されていない市町村も数多くございます。

そのような中、県では地域防犯重点モデル地区支援事業が平成二十五年度から実施され、犯罪の多い地域等で自主防犯組織が行うハード、ソフトの防犯活動を支援する市町村に対して補助をしています。数ある防犯活動の中で防犯カメラの設置だけを取り出してみますと、平成二十五年度は三市一町三十三台、平成二十六年度は三市二町三十八台が設置され、平成二十七年度は三市二町で予定をされています。毎年度五百万円の補助金が県で予算化されていますが、年間五市町村ほどの補助ではあまりにも不十分で地域の防犯力が高まったとは言えないのが現状だと思えます。

今日、各自治会や民間会社、個人の住宅まで防犯カメラの設置が検討されています。安全・安心なまちづくりを推進するために、予算の増額が必要と考えております。防犯カメラの設置を含め、地域の自主的な防犯活動に対する支援の充実が今こそ必要だと考えますが、どのように取り組んでいかれるのか知事のお考えをお伺いをいたします。

次に、ソーラーシステムを活用した県内の公立学校の空調設備の整備と公共施設への再生可能エネルギーの導入促進についてでございますが、前回の代表質問に引き続き、公立学校空調設備の整備促進についてお伺いをいたします。

平成二十六年度のデータでは、空調・冷房設備の設置率が小・中学校一六・三%、高等学校では四〇・五%と文部科学省が発表しております。機会あるたびに申し上げておりますが、各家庭や公共・民間施設も空調設備が整備されている今日の生活スタイルや学生の皆さんの体力的なことを考えますと、空調設備なしでは非常に厳しい学校生活状況ではないかと考えられます。

今日現在でも、県内市町村では空調設備のないところがあると聞いておりますが、早急に空調設備を整備する必要があると考えます。またその際、省エネで環境にもやさしいソーラーシステムを学校の屋上などに設置し、電力を確保してはいかがでしょうか。学生の皆さん方のエコ意識を高める効果もあると思えます。

既に県内では、文部科学省の補助制度を活用し、幼稚園三園、小学校十五校、中学校八校、特別支援学校一校がソーラーシステムの整備を一部行ったと聞いておりますが、まだまだ十分ではございません。

そこで、県内公立小・中学校及び高校の空調設備の整備について、県がリードして、市町村への要請も含め、推進するべきだと考えますがいかがでしょうか。整備に際しては、省エネで環境にもやさしく、エコ意識を高める効果もあるソーラーシステムを活用してはいかがでしょうか。教育長にお尋ねをいたします。

また学校だけでなく、多くの方が出入りされる公共施設にもソーラーシステムを整備することで、広く県民の方々に再生可能エネルギーの導入促進をアピールできると思います。さらには、県内にはソーラーシステムの研究、開発、品質検査を担当する大手メーカー工場がございます。その県内の工場は、敷地面積七万三千九百五平方メートル、従業員七百三十三人を持ち、一九五九年の五十五年前から太陽電池の開発に着手されてきたようでございます。県内で唯一JAXAに認定され、既に人工衛星百七十基以上に搭載されている実績を持つ工場で、多くの県内居住者が勤務をされていることから、ソーラーシステムの普及拡大により、地域経済の活性化と雇用の確保の効果が絶大であると考えます。

そこで、公共施設へのソーラーシステムなどの再生可能エネルギーの導入促進について、どのように取り組んでいかれるのか知事にお伺いをいたします。

次に、高齢者の運転事故防止についてお伺いをいたします。

最近のマスコミ報道の中でも、高齢者の車の運転事故が全国的に非常に多く、また大事故につながる事が報道されます。特にアクセルとブレーキの踏み間違いや、高速道路の逆走などが報告されています。

県内の高齢者の関係する事故の発生件数は、平成二十六年で千八百七十二件、また平成二十七年十月末現在で千三百五十三件と、全交通事故のうち高齢者の関係する事故の占める割合が三二%もあります。また残念ながら死亡事故については、平成二十六年、四十五人中二十三人と五一・一%、平成二十七年十月末では三十九人中十九人と四八・七%、二人に一人は高齢者の方であります。その原因は、身体機能の変化や認知機能の低下などとされていますが、現在の日本の高齢化が世界一と言われる中、今後ますます増加するのではないかと考えられます。

警察としても、免許証更新時に高齢者講習をされ、安全運転の方法について具体的に指導されているかと思いますが、これからは交通政策として高齢者運転免許の自主返納を推進していくべきと考えます。

しかし奈良県内では、公共交通アクセスやタクシーの配置、また本人の身分確認証明、足腰の弱体化などの要因により、高齢者の運転免許の自主返納がなかなか進まないのではないかと考えられます。

このうち身分証明については、運転免許を自主的に返納して五年以内に申請をすれば、免許証と同じサイズの運転経歴証明書が発行され、公的な身分証明として利用できることになっています。

また民間公共交通のご協力で、運転免許の自主返納を支援する事業として、同事業に参加するタクシー会社の運賃が一割引きで利用できたり、奈良交通ゴールドクラブ定期券の一年券を一回限り無料で交付を受けることができ、同定期を利用すれば、近鉄大阪線以北のバス運賃が百円であったり、以南の区域については半額で利用できる制度などがあります。

県内大手タクシー会社のご協力で実績を教えてくださいました。平成二十六年度は、運転免許証返納者で割引で利用されたのは、奈良県内で三千九百七十七回あったようでございます。身体・知的障害者の方が利用された回数は九万六千四百七十五回です。まだまだ少ないように思います。私はこうした公共交通機関の割引制度の拡大を図るべきだと考えます。

そこで、警察本部長にお伺いをいたします。

高齢運転者の交通事故減少対策や運転免許自主返納支援制度の拡大について、どのように考えておられますか、お伺いをいたします。

以上をもちまして、私からの壇上からの質問とさせていただきます。ご清聴、誠にありがとうございました。（拍手）

◎知事（荒井正吾）（登壇） 二十四番田尻議員のご質問がございました。私にご質問された事項についてお答えを申し上げます。

第一問はマイナンバー制度の活用の方向、セキュリティーの確立についてのご質問だと思います。

マイナンバー制度は、社会保障、税、災害対策の分野におきまして、行政機関が個別に管理してきた個人情報を相互に連携することが基本機能になっております。国民の利便性を高めるとともに、行政事務の効率化を図るための重要な社会基盤になるものと認識をしております。

しかし一方で、個人情報がネットワークを介して連携されることから、個人情報保護のためのセキュリティーの対策も十分とっておく必要があるわけでございます。

今後、本県では、マイナンバーを活用した行政機関同士の連携を図っていく所存でございますが、例えば高等学校等就学支援金や指定難病特定医療費助成の認定事務というのがございますが、その所要額の算定を行うために所得の情報を市町村から入手するなど、情報連携を図っていくなどの例が挙げられます。

情報セキュリティーに対しましては、システム面と運用面の両面の対策が必要と存じます。システム面の対策でございますが、個人情報は国、県、市町村で今までどおり分散管理することになっております。マイナンバー制度を活用して情報連携をする際の情報漏えいが心配になるわけでございますが、その際には住所、氏名、マイナンバーなど個人を特定できる情報はネットワークに流さず、別の符号を用いることとされております。さらに、本年六月に日本年金機構の個人情報の漏えい問題が発生いたしました。その後の国からの指示を受けまして、マイナンバーを取り扱う業務システムをインターネット環境から完全に切り離す対策も講じることにしております。マイナンバー制度をインターネットで利用する際の、個人情報漏えいに対するセキュリティーを万全にするシステム面での例でございます。

運用面のことでございますが、マイナンバーに係る安全管理規程を定め、マイナンバーを扱う所属に対しまして、手順や責任者の明確化を図るような体制の構築をしているところでございます。

今後も、マイナンバー制度の安全な運用に向けて、着実な取り組みが必要と思っております。

次のご質問は、国道三〇八号大宮道路についてのご質問でございます。

最初は、奈良から大阪方面に行く道路のケースでございます。

第二阪奈有料道路に行く交通が、高架から直接入れない事態が生じております。経緯について、まず申し上げます。

大宮道路のこの地点の事業化でございますが、平成二年度の事業化の時点では、高架部から第二阪奈有料道路の宝来ランプに乗り入れができる計画でございました。その後、首都高速道路などにおきまして、このような分合流部での事故が多発いたしまして、その分の安全性をさらに強化しよう、優先しようという動きになりました。大宮道路高架部から宝来ランプへの乗り入れは、多少交錯する部分がございますが、その部分が多少短いんじゃないかという面が安全面から危惧されたものでございますので、宝来ランプへ高架部から乗り入れを制限するというので、安全性重視の決着をして、平成二十一年四月

から今の形で供用された経緯がございます。

しかしながら、現在の形態は、道路利用者の利便性の観点からは課題があると認識をしております。大宮道路高架部から宝来ランプへ乗り入れられるようになることが望ましいと考えております。検討を進めておりますが、今のところの案でございますが、三条通りから阪奈道路に向かう交通道路を持ち上げて、大宮道路高架部から宝来ランプへ向かう交通を立体交差させる、三条通りのほうを上を渡って生駒のほうに行く立体交差の手法が最も合理的だというふうには検討を進めてまいりました。

そのような方式がいいにしても、当該箇所で行うとしますと課題が残っております。この部分は、一日約六万台という交通でございます。既存道路敷の中での狭い限られた空間で構築物をつくらなければなりません。実際に施工ができるかどうかといった直接の課題や工事期間中の渋滞対策の課題、また道路構造の改変をいたしますと、隣接いたしますホテルや沿線地域へのアクセスに変化が生じますので、その対応をどうするかなどの課題が眼前に出てきております。

現在、このような課題、多岐にわたる課題について検討中でございますが、もう少し具体的に申し上げますと、まず通過交通に与える影響が少なく済む道路構造や施工方法が、さらになにかどうかという検討をしております。また施工業者の先端的で高度な技術力を活用できる、設計・施工一体型の工事発注方式をとれないかどうかという検討もしております。また東向き車線が多少余裕があると仮定した場合に、その活用を含めた工事期間中の交通規制方法についても検討しております。また道路利用者への広報をはじめとした工事期間中の渋滞対策の検討も不可欠でございます。

このような検討を進めておるわけでございますが、現時点ではまだ、残念ながら最終的にこれといった具体的な計画案をお示しできるまで検討が煮詰まっておりません。関係機関との相談も必要でございますので、具体案ができましたら、地元地域の皆様方をはじめ関係の皆様方、また議会にも説明をさせていただく機会をとらせていただきたいと思います。

大宮道路のもう一つの質問は、東向き、東のほうへ行く道路、近鉄樺原線跨線橋部の渋滞についてでございます。

大宮道路の東向き車線のこの近鉄樺原線の上におきましては、ご指摘のとおり、高架部の二車線を一車線に絞り込んでから側道部の一車線が合流する形態となっております。二車線を一車線にして、また左折も含めまして戻すという形でございます。

このような形態といたしましたのは、経緯でございますが、平成二十二年九月の完成供用に際しまして、地元地域の方々から、側道部からの交通と高架部の交通が交錯しないようにしてほしいとの強い要請をいただいたことに起因をしております。地域の方々や沿道を利用される方々が容易に大宮道路に合流できるよう措置したというのが経緯でございます。

大宮道路の東向き二車線は、一日約二万二千台の利用がございます。当該箇所を含む前後四キロメートル区間は渋滞箇所となっております。しかしながら、大宮道路高架部及び側道部の交通実態、さらには、議員ご指摘の二車線から一車線への絞り込みがこの状態になっております渋滞にどの程度影響を与えているかは、まだ十分に把握できていないのが実情でございます。

したがって、二車線から一車線への絞り込みをやめた場合にどのような効果が出るのか、地元の住民の方にどのような影響が出るのかというようなことを見定める必要があるかと思っております。この地帯の交通実態を詳細に把握して分析、検討をして、変えた場合の影響をはかる必要があるかと思っております。

先ほど申し上げました西行きの宝来ランプへの入り口の検討も進めておりますので、この部分の検討

とあわせまして、検討をさらに進めさせていただきたいと思っております。

次のご質問は、観光行政の推進と大立山まつりの今後の進め方などでございます。

冬季、冬の誘客イベントとして仕立てようとしております大立山まつりは、本県の宿泊観光客が一年で最も減少いたします一月、二月の誘客を促進するためのものがございます。統計を見ますと、一月、二月の落ち込みは、正月のお参り直後から非常に激しいものがございます。盛りの季節のいいときに比べて半分以下になっているのが実情でございます。そのため、大規模でインパクトのある新たなイベントというのが望まれてきたと思っております。

このイベントの狙いとしたしましては、奈良に大変リピーターの多い首都圏や海外からの観光客をターゲットに、正月の初参りの後の新年の奈良を象徴いたしましたお祭りであります。またこの時期でございますので、無病息災を希求する祭りとして創出したいと思っております。ありがたみのある奈良の冬を打ち出す、また冬の奈良の注目イベントとするということを狙いとしております。新たな奈良ファンの獲得やリピーター確保につなげていきたいと思っております、冬の恒例イベントとして今後も実施したいと考えております。

広報をどうするのかということでございますが、大変重要な事業の部分でございます。具体的には、駅張りや車内張りのポスター、チラシの掲示を十分にしたいと思っておりますし、首都圏の展開も含めたデジタルサイネージでの広報や、全国紙への広告掲載によりPRをしていきたいと思っております。イベントガイドブックはいろんなイベントで利用しておりますが、発行部数十万部でございます関西ウォーカーへの特別掲載に加えまして、別途八万部を別刷りして、関係者、関係機関に配布して展開をしたいと思っております。

これらの広報手段によりまして、大立山まつりは新しくデビューいたしますので、広く周知をしていきたいと思っております。夜のイベントとして定着しております夏の平城京天平祭の来場者と同様に、冬ではございますが、五日間で約三万人の集客を目指したいと思っております。

イベント中の交通アクセスについてもご心配をいただきました。JR奈良駅及び近鉄大和西大寺駅からの無料シャトルバスを、恒例のイベントどおり運行したいと思っております。また車で来場される方につきましては、平城宮跡エントランス駐車場を夜間まで延長開放したいと思っております。

また、ホテル、旅館等の宿泊対策でございますが、旅行事業者及びホテル事業者の方々も実行委員会に参画をしていただいております。祭りと連動した宿泊プランの造成や、おもてなし向上に取り組んでいただくことにしております。

この時期発売を予定しております宿泊プレミアム商品券の発売とあわせまして、来月からの大立山まつりを核とした冬の誘客重点キャンペーンを冬の新しい奈良のイメージを盛り上げるチャンスと捉えて、全力で取り組んでいきたいと思っております。

次のご質問は、地域の防犯力向上についてでございます。防犯カメラの設置を含めた、自主的な防犯活動の必要性についてのご質問でございます。

県民を犯罪から守る地域防犯力向上のためには、議員ご指摘の自主防犯活動が重要と存じます。

本県では以前から、警察や市町村と連携して、犯罪に対する自助、共助の必要性を訴え、地域の自主防犯活動を支援してまいりました。

ご紹介いただきました地域防犯重点モデル地区支援事業でございますが、このほかに地域の自主防犯活動の中心となる防犯リーダーの養成、地域の自主防犯活動団体に人的、物的な面で支援し、社会貢献活

動に取り組む地域防犯サポート事業所の登録拡大などを図ってきたところでございます。これらの成果といたしまして、地域での自主防犯組織等による防犯パトロール活動の活性化など、住民の防犯意識が着実に高まっていると認識をしております。

県内の刑法犯認知件数という面で捉えますと、平成二十六年には一万一千百四十件ございました。十二年前の平成十四年がピークでございましたので、ピーク時に比べますと三分の一まで減少している実情にございます。

一方、新しい犯罪も増加が見られる傾向がございます。ひったくりや自動販売機狙いなどでございます。増加している犯罪もございます。今後とも地域における自主防犯活動を支援する必要があるかと思っております。

また、議員ご指摘されました防犯カメラは有効な手段だと思っております。犯罪の予防、事件の速やかな解決などにとって役立ちます。その設置に対しましては、県と警察と市町村によるものがございます。それぞれの役割分担を明確にし、それに留意しながら、来年度の予算編成過程で効率的な配置を心がけていきたいと思っております。

さらに来年度、奈良県にとっては初めてのことでございますが、県と警察が連携して防犯に関する基本的な計画の策定を目指しております。県、警察合同計画でございます。その中で、県、警察、市町村や自主防犯組織などの防犯力向上のための役割、県などの地域防犯活動への支援のあり方、かかわり方を盛り込みたいと思っております。

ソーラーシステムについてのご質問が私と教育長にございました。私のほうからお答え申し上げる点でございますが、公共施設へのソーラーシステムの導入についてのご質問でございます。

本県では、奈良県エネルギービジョンに基づきまして、多様な再生可能エネルギーなどの普及拡大を図るため、御所浄水場や図書情報館など県有施設にも太陽光発電施設の設置を進めてまいりました。

また公共施設の多くが、災害時には避難所や地域の拠点施設となりますので、緊急時のエネルギー対策として、国のグリーンニューディール基金を活用して、学校や公民館など県有施設三カ所、市町村等の施設三十九カ所に太陽光発電設備や蓄電池などの設備の導入を進めてまいりました。

さらに現在策定中でございますが、第二次エネルギービジョンの中で、分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給を目指すべき方向として取り上げております。また緊急時のエネルギー対策の推進を図る施策として、公共施設等におけるエネルギー確保体制の整備促進を位置づけたいと考えております。

今後も、国の補助制度も活用しながら、この趣旨に沿った公共施設への再生可能エネルギーの導入促進の取り組みを進めていく所存でございます。

私に対する質問は以上でございました。

◎教育長（吉田育弘）（登壇） 二十四番田尻議員のご質問にお答えをいたします。

私には、ソーラーシステムを活用した県内の公立学校の空調設備の整備についてのお尋ねでございます。

空調設備につきましては、現在、県立高校十四校で育友会等によりまして設置をされておりますが、県教育委員会では今年度の新規事業といたしまして、西和清陵高等学校をはじめ五校をモデル校に指定し、空調設備の設置及び来年度の使用に向けて、現在手続等を進めているところでございます。

一方、小・中学校への空調設備設置につきましては、設置者である市町村の見解もございまして、その判断に基づいて進められると考えておりますけれども、県教育委員会におきましては、設置を希望する市町村に対する国の財政支援など、きめ細やかな情報提供を行うとともに、国に対して予算の確保を要望いたしております。

議員お述べのように、県立学校におきましては、奈良養護学校にソーラーシステムを設置いたしております。また小・中学校におきましては、国による環境を考慮した学校施設、エコスクールの整備推進の取り組みなどもございまして、十七市町村二十三の小・中学校で同システムを設置いたしております。昨今では、これらの施設が環境エネルギー教育の発信拠点になっておりますし、地域における地球温暖化対策の推進や啓発の先導的な役割も果たしていただいているところでございます。

ソーラーシステムの設置は、環境教育の推進やCO2削減という点で有意義なことと認識をしておりますけれども、空調設備の電力の確保も兼ねるとなりますと、その規模また条件、効果などについて十分研究する必要があると考えているところでございます。

教育の環境整備は、奈良県総合教育会議の主要なテーマの一つでございまして、今後は同会議での議論を踏まえながら、県立高校へのソーラーシステムの導入や空調設備の設置につきましては、耐震化整備とあわせて検討を進めてまいります。

以上でございます。どうもありがとうございました。

◎警察本部長（羽室英太郎）（登壇） 二十四番田尻議員のご質問にお答えいたします。

私には二点ご質問がございました。一点目は、マイナンバー制度に関し、詐欺被害の有無それから対策に関するものであります。

本年十月五日に一部施行となりました、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法におきましては、個人番号を不正取得する行為自体に罰則が科せられることとなっております。

しかし、不正に個人番号を聞き出そうとする不審電話等の相談が十一月末現在、全国で百六十八件把握されており、そのうち、市役所から来た、マイナンバーカード交付手続にお金がかかるなどと言われて現金をだまし取られたり、あなたの個人情報が漏れいしている、個人情報削除手続を行う必要があるので電子マネーを購入するように等と携帯電話メールで指示され、電子マネーをだまし取られる等の被害も二件確認されております。

当県におきましては、銀行員や消費者センター職員と名乗り、あるいは郵便局職員を装って、個人番号や家族の住所、氏名等の個人情報を引き出そうとする不審電話等の相談が十一月末までに四件寄せられており、幸いにも個人番号の流出や詐欺による金銭被害は認知しておりませんが、今後、マイナンバー制度に便乗した事案等の発生が懸念されるところでございます。

県警察といたしましては、マイナンバーをはじめとする個人情報が聞き出されたり悪用されることのないよう、広く県民の方々に周知するため、県警察のホームページやフェイスブック、広報紙やまとの安全、ナポ君メール等を通じ、具体的なだましの手口を紹介するなどにより、被害防止に努めているところであります。

またマイナンバー制度を悪用した特殊詐欺も懸念されることから、万一だまされても金銭等の被害を防止するため、金融機関や宅配業者との連携を強化し、事業所職員等の声かけ、被害の疑いがある場合

における一一〇番通報の協力依頼等、水際防止対策を強化しているところであります。

今後も引き続き、個人番号の流出防止と特殊詐欺の被害防止に向けた各種対策を推進し、被害の絶無を期する所存であります。

二点目のご質問は、高齢運転者の交通事故減少対策や運転免許自主返納支援制度の拡大について、どのように考えているのかというお尋ねであります。

当県では、平成二十一年以降、高齢者が加害者となる事故が被害者となる事故の件数を上回っており、また本年十一月末までに発生した死亡事故四十件のうち、高齢者による加害事故が約三割を占めているほか、全国的にも高速道路の逆走や運転操作の誤りによる重大事故の発生が問題になるなど、高齢運転者に対する交通事故防止対策は喫緊の課題であると認識をしております。

このため県警察におきましては、加齢に伴う身体機能の変化を自覚していただくための参加・体験・実践型の交通安全教育を実施しているほか、認知症など一定の症状を呈する病気にかかっているご本人またはご家族からの運転に関するお問い合わせにつきましては、運転免許センター及び警察署に相談窓口を設置して対応しているところでございます。

また、運転に不安を感じておられる高齢運転者の方につきましては、運転免許を自主的に返納し、運転免許経歴証明書の交付を受けられた場合、事業所からの任意のご協力により、公共交通機関の運賃割引、料金の割引、サービスの提供等の生活支援を行う取り組みを平成二十四年から推進しており、これまでに県内の百六十八事業所にご協力をいただいているところでございます。

なお公共交通機関の割引制度につきましては、奈良市、大和郡山市及び王寺町で行っていただいております。他の自治体にも拡大を図るべく、ご協力をお願いしているところでございます。

県警察といたしましては、高齢運転者が関係する交通事故を防止するため、今後もさまざまな対策を推進してまいりたいと考えております。

以上であります。

◆二十四番（田尻匠） 知事はじめ教育長、警察本部長にご答弁をいただきました。

まず最初、マイナンバー制度でございますが、知事がおっしゃったように、特にセキュリティーであったり、あるいはこの先、未知の世界へのマイナンバー制度の活用になってまいります。県民の皆さん方や、あるいは特に高齢者の皆さん方が、どうしたらいいんだろう、あるいはもう既に詐欺に遭うかのような心配をなされている、そういう現状がございます。そのことを含めて、警察本部長からも答弁をいただきましたが、しっかりとセキュリティーを守っていただくこと、そしてまた、県も十分にいろんな案件等も含めて対応をしていただくように強くお願いを申し上げたいと存じます。

次に国道三〇八号大宮道路についてでございますが、知事の答弁の中で、今の形態がよしとはしない、そしてまた、高架から第二阪奈有料道路へ進入も考えていかななくてはならないということで、これから工法であったり、あるいは設計、施工も含めて検討するという大変強い前向きな姿勢をいただきました。

そのことについて私どもも非常にうれしく思うところでございますが、ひいてはこの先、さきの六月の代表質問の中でも触れさせていただきましたが、新しく県立奈良病院、奈良県総合医療センターが富雄川沿いにできます。交通の渋滞の緩和や、あるいは新しい交通のアクセスも含めて、第二阪奈有料道路の活用方法がもっとふえてくるのではないかと、あるいは交通渋滞がふえるのではないかと、その点も懸念をいたしているところでございます。その点を含めて、いろんな設計、工法を考えていただくことにな

ろうかと思いますが、やはり時期やタイミングが大変大事かと思えます。早急にスピードを上げていただき、そして、しかるべきタイミングで私どもにご提示いただければ大変ありがたいと存じます。

次に防犯についてでございますが、大変各地域あるいは県下一円でも、防犯活動やあるいは防災活動は、非常に地域住民の皆様方のご協力をいただきながら、熱心に活発になされているところであります。私も地域の自治会長をさせていただいておりましたときに、地域で防犯パトロールや、あるいは防災訓練をさせていただきました。多くの地域住民の皆さん方にご参加いただいたり、あるいは小学校や中学校、各種団体の皆さん方と一緒に協力いただきながら、奈良西警察署の署長をはじめ皆さん方にもいろんな形でご協力いただき、大変皆さん方の機運が高まったところかと、このように思っております。

今、そんな中で、防犯カメラをつけよう、あるいは防犯カメラを設置するべきだという、そんな意見が大変自治会等でも多くなってまいりました。このときに考えていかななくてはならないのが、やはりその購入費用やメンテナンス、あるいはランニングコストでございます。その点について、これはどういう形でどのようにしていったらいいんだろうという、そういうことも具体的に検討していかななくてはならない課題だと思います。この点について、先ほど知事からも答弁をいただきましたが、ぜひとも力強く推し進めていただきます、県あるいは警察あるいは市町村を含めて、前向きにしっかりと具体的に進めていただきたいと、このように強く求めてまいりたいと思えます。

またソーラーシステムにつきましては、教育長、ソーラーシステムもありきなんですけど、やはりそれよりも、小・中・高の冷房あるいは空調設備の整備が大前提であることをこの前も申し上げました。

私も、教育長と一緒に県立高田高等学校へと視察に行かせていただきました。大変、その中で空調設備も見せていただきましたが、しかし、その費用もあるいはかかる経費もPTAの保護者会で負担をされていることが、どうしてもやはり私どもとしては理解ができない、あるいは少し厳しい現実かなと、このように思っております。改めて強く、その点についても推進をお願いしておきたいと思えます。

そして警察本部長につきましては、マイナンバーの被害につきましては、ぜひともこのまま〇件でいけるように、しっかりと警察各位の皆さん方のご協力をいただきますとともに、今、高齢者の運転免許証の返納制度でありますけど、これは各タクシー会社やあるいはバス会社の皆さん方のご好意によって成り立ってる制度かと、このように思えます。一部の市町村では、このことを含めて補助対象も考えておられるようではありますが、ぜひともいろんな形で、一〇%と言わず二〇%、三〇%の割引になれば、やはりその制度が進んでいくのではないかと、ひいては加害者や被害者にならない高齢者の皆さんがふえるのではないかと、このように強く思っております。

ぜひとも一緒に進めていただくことをお願いを申し上げます、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。